EXPRÈS

別配達

京都市左京区下鴨中川原町95

今西錦司 先生

速達

(JAPON)

PAR AVION
VIA AIR MAIL
LUFTPOST

KAWADA, Junzo
18, rue Mabillon
Paris 6 (France)

IWANAMI SHOTEN, Publishers Tokyo Japan.

今西先生、

今日、芦沢玖美さんから連絡を受け、先生が十二月上旬にパリにおいでになることを知りました。思いがけずお目にかかれるのをいまからたのしみにしています。ホテルはわかりましたが、パリ御到着の飛行便が不明です。もしおわかりでしたら、お教えいただければ、空港へ参ります。速達（EXPRESS）にすれば日本時間で十二月三日のうちにお手紙をお出し下されば、間にあうようにこちらにとどくと思います。

御無沙汰していますが、私も元気でいます。ただこの秋は、私の父、敬愛していた友人、泉先生と相ついで急逝し、生命のはかなさを感じています。昨年からフランスのスカラシップを受けて、いままで主に調査してきた西アフリカのモシ族の国家形成のことを、ソルボンヌに出す学位論文としてまとめていますが、途中で構想がかわったりして、最近やっとタイプを打ちはじめた段階です。アフリカ（とくに旧仏領西アフリカ）については、フランスは年季をいれた研究者が多いので、たちいった批判がうけられ、大いに勉強になります。指導教授はバランディエ先生です。

自分に、じっくりした勉強の不足していることを痛感して、当分学生に戻るつもりで、フランス再留学の機会に日本の大学は一旦離れましたが、来春、論文を出して（予定通りいけば）、一度日本に戻り、来秋からまた当

(20×30)

分、西アフリカでモシ族とつきあうつもりです。少しでもいままでやったことをまとめてみると、またその先の地平がひらけ、疑問が雲のように湧いてきて、果てしがありません。ヨーロッパの学問（とその蓄積はたいへんなものだということを感じますが）の借りものやさしあたりの間にあわせでない学問を、アフリカを足場にして、じっくり、時代錯誤的なテンポで育てて行きたいと念願しているのですが……

ところで、今西先生の「遊牧論」などを読みかえし、また、レヴィ＝ストロース先生の講義をきき（レヴィ＝ストロース先生の、人類学に対する基本的な姿勢は、自然史の中における文化の理法の探求だと思いますが）、古生物学・比較解剖学の博物館などに親しんでいるうち、ナチュラル・ヒストリーの中の人間（文化）という視野に、つよく心をひかれるようになり、実は今西先生にお手紙を出してみようかと考えていたところでした。先生のたしか「私の自然観」という題の御著書があったと記憶しますが（もし、題名をまちがえていましたら、御容赦下さい）、お手元にお持ちでしたら、一冊、旅行鞄にいれて持ってきていただけないでしょうか。パリに居る間に、是非ゆっくり拝読させていただきたいのです。大変勝手なお願いで恐縮ですが……

今年四―五月に、放浪がえりの京大勢、江口、西村、泉（拓良）などがパリにあらわれカルチエ・ラタンのわれわれの屋根裏部屋には、

IWANAMI SHOTEN, Publishers Tokyo Japan.

IWANAMI SHOTEN, Publishers Tokyo Japan.

来てくれて、大いに愉快でした。

綺子もお蔭様で元気で、フランスの土をこ

ねて、せっせと土器をこしらえています。

では、お目にかかるのをたのしみに。

十一月二十六日。

川田順造拝

今西錦司先生

パリの私のアドレス。

KAWADA, Junzo

18, rue Mabillon

Paris 6

25 20 15 10 5 (20×20)